

# 第 13 回災害支援訓練

## 実施報告書

広域一般廃棄物事業協同組合

## 第 13 回災害支援訓練実施報告書 広域一般廃棄物事業協同組合

日 時：平成 29 年 3 月 11 日（土）9：00～12：10

場 所：①集合場所…小田原市諏訪原（トレープラスチック減容施設の隣り）

②派遣場所…広域避難所 2 次施設となる橘中学校、酒匂中学校、白鷗中学校、旧片浦中学校、城南中学校、城山中学校、国府津中学校、鴨宮中学校、白山中学校、城北中学校、泉中学校、千代中学校の 12 箇所

参加者：神奈川県 2 名、小田原市 5 名、南足柄市 5 名、葉山町 1 名、湯河原町 1 名、箱根町 2 名、オリックス資源循環㈱ 1 名、協力会社 7 名、広域一般廃棄物事業協同組合 40 名

趣 旨：災害時における一般廃棄物災害収集に関する協定を締結している中で、災害が発生した際にスムーズな対応ができるかどうかを確認し、かつ、災害応急対策に対する相互理解を深める。

想 定：平成 29 年 3 月 10 日（金）15 時に発生した地震（震度 7）の影響により、小田原市が被災し、市内の避難所設置による仮設トイレの汲取りと臨時ステーションのごみ収集、震災ごみ増加・道路事情悪化により家庭ごみの収集・運搬に支障をきたしているという想定のもと、災害応急対策を行う。

概 要：緊急連絡網による連絡訓練、応援要請から参集訓練、避難所への派遣訓練までを行う。

内 容：避難者数の増加により広域避難所だけでは収容しきれず、広域避難所 2 次施設として指定されている市立中学校が避難所として開設されるという想定で、実際に作業車両で現地を確認し、適正に災害収集を行うことができるかを確認する。また仮設トイレ及び避難所ごみ臨時ステーションの適正設置場所調査を行う。小田原市と 3 月 16 日に締結する仮設トイレの提供に関する協定に先立ち、城北中学校には多目的トイレを提供する。

主な使用機材：

- ①バキューム車 11 台
- ②仮設トイレ運搬車 3 台
- ③塵芥車 2 台
- ④仮設テント 3 張（小田原市貸与）
- ⑤音響設備（ポータブルワイヤレスマイク）1 機
- ⑥白板 3 枚
- ⑦非常食セット 31 個
- ⑧地図（道路地図、明細地図）
- ⑨机 5 枚（小田原市貸与）
- ⑩椅子 70 脚（小田原市貸与）
- ⑪立て看板 3 基（小田原市貸与）
- ⑫災害用簡易組立トイレデモ機（ハマネツ貸与）
- ⑬仮設トイレ 13 基

備 考：

## タイムテーブル

3月10日（金）

- 15:00 小田原市に震度7の地震発生。
- 15:20 小田原市環境部からの応援要請に基づき、組合員へ応援要請。
- 16:00 組合の支援体制を小田原市に連絡。

3月11日（土）

- 9:00 全派遣班、集合場所に到着（小田原市諏訪原 トレープラスチック減容施設横）  
司会進行 加藤副理事長  
開会挨拶 鈴木理事長  
参加者紹介  
訓練行程説明  
小田原市から応援要請の内容説明
  - ・市内12箇所の広域避難所設置とそれに伴う仮設トイレ汲取り、ごみ収集及び仮設トイレ設置班編成（2班体制とする。第1班を高橋班長、第2班を稲葉班長が担当）  
責任者会議（浅田統括、高橋班長、稲葉班長、小田原衛生担当者）  
班別ミーティング
  - ・市内状況説明
  - ・運行計画作成、作業指示
- 9:25 作業チームごとに広域避難所へ移動
- ～11:30 進入路の確認、仮設トイレ設置場所の調査（11校）、臨時ごみステーションの調査（3校）、多目的トイレの設置（1校）
- 11:35 災害用簡易組立トイレ設置デモンストレーション（ハマネツ ドントコイ）
- ～11:55
- 11:35 訓練終了式  
班別に派遣訓練結果を報告  
関係機関挨拶 小田原市環境部環境保護課長 平田様  
行政機関代表挨拶 神奈川県環境農政局環境部資源循環推進課  
グループリーダー 吉江様  
講評 鈴木理事長  
関係機関挨拶 小田原市防災部 副部長 岡辺様
- 12:30 訓練場所清掃、後片付け  
解散

# 現地案内図

## 小田原市諏訪原地内



現地災害対策本部

訓練状況

開 会



環境部から指令を受ける



第1班ミーティング



訓練状況

第2班ミーティング



災害支援車両

バキューム車 12 台、  
仮設トイレ運搬車 3  
台、塵芥車 2 台



統括の指示により広  
域避難所に向けて順  
次出動



訓練状況

仮設トイレの適正設置場所の調査  
(国府津中学校)



避難所ゴミの臨時ごみステーション設置場所の調査  
(国府津中学校)



多目的トイレの設置  
(城北中学校)



訓練状況

災害用簡易組立トイレ  
レドントコイ MH 型  
設置デモンストレーション（ハマネツ）



訓練終了式  
関係機関挨拶（小田  
原市環境部）



視察頂いた行政機関  
を代表して神奈川県  
から挨拶を頂いた



## 「避難所のトイレ環境守れ」

### 廃棄物事業者が災害訓練

県西部を中心とした3市 組織する広域一般廃棄物事  
10町の一般廃棄物事業者で 業協同組合（鈴木茂理事長）



仮設トイレを設置する参加者 城北中学校 2次施設が開設さ

と小田原市が3月  
11日、災害支援訓

練を行った。

訓練は小田原市  
が震度7の地震で  
被災し、市内12中

学校に広域避難所

れ、避難所への仮設トイレ

設置や仮設トイレの汲取り

が市内事業者だけでは作業

に支障をきたしているとい

う想定。近隣市町、県の担

当者もオブザーバーとして

参加した。

小田原市環境事業センタ

ー隣接地に設けられた本部

から参加者は4チームに分

かれ、仮設トイレを積んだ

トラック等で各中学校へ移

動。学校に到着するとチェ

ックリストを手に「バキュー

ーム車が進入できるか」「ト  
イレと手洗い場が離れてい  
ないか」などトイレ設置場  
所の状況を確認。城北中学  
校では実際に仮設トイレを  
設置する訓練も行った。

訓練後、参加者から「道

路が狭い場所もあった。学  
校への進入口を複数設けら  
れるようにしては」などの

報告があった。参加者の意  
見やチェック結果は集約し、  
市に提出するという。

もしもの時に  
困らないために  
災害に備えて

### ◆3月11日 避難所開設にそなえた災害支援訓練を実施

県西部を中心にゴミ収集・廃棄物委託業者が組織する「広域一般廃棄物事業協同組合」(鈴木茂理事長)と小田原市が災害支援訓練を実施。神奈川県をはじめ近隣の行政機関も視察に訪れた。13回目となる今回は、県内から14社が参加。班に分かれて広域避難所2次施設となる小田原市内12カ所の中学校に赴き、進入路と仮設トイレの設置場所を確認した。また、本部と無線での連絡訓練も行われた。



城北中学校での多機能仮設トイレの設置訓練の様子。



「大きな災害時に必ず起こる避難所のトイレ問題を速やかに解決できるよう、訓練を通して運用や問題点を共有していきたい」と鈴木理事長。